



朽木西小だより



平成30年10月12日(金) 第10号 文責 地村

声に出すこと

10月に入り、朝夕冷え込むことが多くなりました。子どもたちは、秋の深まりを感じながら、毎日、学習に運動にがんばっています。最近では、10月27日の西地区文化祭に向けて、学習発表やお昼の出店などの準備に忙しい毎日を送っています。来ていただく保護者や地域の皆さんに、楽しいひとときを過ごしていただけるよう、子どもたちはいろいろ工夫した内容を計画していますので、多くの皆さんの来校をお待ちしています。



ところで、子どもたちが文化祭の練習をしている様子を見ている中で、ふと思い出したことがあります。それは、新潟県で長年小学校の校長を務められ、教育実践で有名な酒井臣吾先生がおっしゃっていたお話です。少し長くなりますが、以下紹介します。

酒井先生は、ある時、中学校の各教科の指導で有名な先生方5人に、中学校の国語、社会、数学、理科、英語の勉強のしかたを尋ねたそうです。その時、5人の先生方は、それぞれの担当の教科について詳しく丁寧に答えてくださったそうですが、その答えの中で、どの先生も大事だとおっしゃったことは「声に出す」ということ。国語の先生も、数学の先生も、理科の先生も、社会の先生も、そして英語の先生も、このことだけは同じだったそうです。特に英語の先生は、「毎日声を出して読むこと。15分でいい。毎日声を出して読めば、どんなに英語の苦手な子でも、必ずわかってくる。」とおっしゃったそうです。では、国語はどうか。これも、音読こそが最良の学習方法だということ。数学も、理科も、社会も、予習や復習をしながら「声に出して」読むこと、「声に出して」書くことが共通して大事であるとの答えだったそうです。

声に出せば、目からだけでなく、耳からも頭に入る。声に出せば、気持ちが高まり積極的な構えになる。気分が暗くならず、明るい気持ちで勉強ができる。などなど、いいことばかりが思い浮かび、なるほど、一流の方の言うことは、的を射ている・・・と酒井先生は感心されたそうです。

15年ほど前、齋藤孝氏が著した『声に出して読みたい日本語』という本が話題になったことがあります。私もその本を手にして読んでみましたが、その本には、「日本古来の鍛え抜かれ、滋養に満ちた言葉を暗誦、朗誦すると心と身体が丈夫になる」と書かれていました。当時、私は担任していた子どもたちに、その本に収められていたいくつかの詩文を紹介したところ、清少納言の「枕草子」、金子みすゞの「大漁」など、子どもたちがたくさんの詩文を声に出して暗誦することを楽しんでいました。私自身の経験でも、子どもの頃に友だちといっしょに覚えた落語の「寿限無」や「般若心経」などは、クラスで大流行したものです。

こうした話すこと、読むこと、歌うことなど「声に出すこと」は、最近では脳科学の分野でもその大切さが言われています。

本校の子どもたちが、日頃の学習で取り組んでいる「読む」「書く」「話す」こと、和太鼓演奏や歌などで声を出して自己表現すること、そして、その取組の成果を保護者や地域の皆さんに発表する場は、子どもたちの成長にとって大切な機会です。

保護者や地域の皆さまには、子どもたち一人ひとりの成長ぶりを温かく見守っていただき、励ましの声をかけていただければ幸いです。



◆道徳授業の学習参観・PTAグラウンドゴルフ大会 9/27

運動会に引き続き、道徳の学習参観・PTAグラウンドゴルフ大会には多数ご参加いただき、ありがとうございました。

今年度から、道徳の時間が新たに「特別の教科 道徳」となりました。道徳の授業では、これまで以上に道徳的価値に迫る読み物の活用や道徳的価値に関する問題解決的な学習などの充実が求められることとなります。今回の学習参観でも、読み物資料や紙芝居、ICT機器の活用など多様な指導法を取り入れた授業を見ていただきました。

その後のグラウンドゴルフ大会は、保護者や地域の皆さんが多く参加してくださり、大変盛り上がりしました。また、終了後の昼食会では、炊き込みご飯と汁物をいただきながら、会話も弾みました。地域の方とのふれあいの場は、子どもたちにとって、礼儀作法、親切・思いやり、明朗快活等の道徳の学習の場にもなります。今後とも、子どもたちの心の育ちを皆さんで見守っていただき、お声かけ等よろしくお願い致します。



◆マラソン練習

運動会が終わってから、10月17日のマラソン大会に向け、長休みや体育の時間に練習に取り組んでいます。長休みが終わると、子どもたちは待ちかねたように運動場に出てきて、放送の音楽の開始と同時に走り出します。最初は走るペースをつかむのが難しかったようですが、最近では一定のペースで調子よく走ることができています。走った成果を記録するマラソンカードは、すでに3~4枚になり、本番の大会に向けて子どもたちのモチベーションも高まってきています。

マラソン大会のコースは、ルネッサンス経由で生杉折り返しです。本番に向け、自分の目標(タイム)をもって走る、自分のペースを守る、少し苦しくてもがんばることをめあてに走ってほしいと思います。

◆田んぼの学校(稲刈り) 10/9

雨で延びていた稲刈りを9日に行いました。秋晴れのもと、子どもたちは鎌を手にもって一生懸命稲を刈り取り、束ね、運んで稲木にかけました。ぬかるんで足場の悪い中での作業でしたが、約2時間で稲の刈り取りを終えることができました。

子どもたちは、五感を通して、四季折々の季節感を感じながら、毎回の「田んぼの学校」でたくさんのお話を学んでいます。



11月の行事予定 (予定は変更することもあります)

- 2日(金) 外国語
- 8日(木) 朽木こども園訪問
- 9日(金) 外国語
- 12日(月) 5年生フローティングスクール(1日目)
- 13日(火) 5年生フローティングスクール(2日目)
- 16日(金) 外国語クラブ
- 30日(金) 外国語

※朽木文化祭(会場:やまびこ館)、
市青少年美術展(会場:新旭体育館)
には、子どもの作品が展示されます。